

令和元年10月分

受付日	提案テーマ	提案内容	主管課の考え方や処理方針	主管課
10月21日	人口増加、出生数増加に向けて	<p>現在3人の幼児を熊取町で育てています。自分の幼少時と比べて近所に子どもが少ないことが気になります。一つの例として3人産んだ時のサポートを拡充してもらえれば人口増加に期待ができるのではないのでしょうか？</p> <p>人口増加の為に合計特殊出生率2.04以上が必要と言われています。それで例えば3人目が生まれて10年間は毎年5万円支給(合計50万)などの政策があれば、世帯の定着と出生数の増加に期待が持てるのではないのでしょうか？</p> <p>前向きな検討をお願いします。</p>	<p>この度は、わが町提案箱にてご提案いただき、ありがとうございます。 ご承知のとおり、特に子どもの人口の“自然減少”は本町のみならず、我が国における大きな課題となっており、これまでも少子化対策に係る取り組みがなされてまいりましたが、今般も、消費税率の増加に伴う財源の有効な使途として、3歳から5歳児の幼児教育・保育の無償化がなされたところであり、本町といたしましても、子育てしやすい環境づくりに向けた取り組みは、未来にわたり必要不可欠であると考えております。</p> <p>一方、本町もこの全国的な人口減少の影響を受ける中で、本町人口の“社会減少”に目を向けますと、かねてからこの“社会減少”への対策として、特に子育て世代に焦点を当てた転入定住促進策やシティプロモーションに取り組んでおり、人口減少の激しい大阪南部において、一定の成果として人口減少率の緩和につながっているものと考えているところです。</p> <p>このような中、例示いただいております経済的な支援を含めた子育て施策の更なる充実に向けたご意見につきましては、本町の今後の転入定住促進策や少子化対策に対する貴重なご意見として、参考にさせていただきます。 今後とも、本町行政にご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。</p>	企画経営課
10月25日	自治会活動の衰退	<p>若い引越してきた世帯は自治会へ加入せず、既存の自治会は高齢化がすすみすぎて役員のみなり手がありません。</p> <p>自治会の派遣制度とか町の職員の方がこの地区の代表者みたいな形で会長専任派遣みたいなシステムは考えて頂けないのでしょうか？</p> <p>その地区の問題がダイレクトに役場へもって帰ることができるのでいいと思うんですが。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。 各・自治会に共通する課題としまして、加入者の減少、会員の高齢化や役員選出が困難であることなどを認識しているところです。</p> <p>町としまして、転入・定住促進策の推進による若年層の定着に加え、各区・自治会及び自治会連合会とも連携しながら自治会への加入促進に、より一層精力的に取り組んでいくことが重要だと考えており、転入等された方に対し、自治会加入の案内パンフレットを配布するなど、自治会加入の意義等の周知に努めています。</p> <p>また、「職員等の派遣制度」を今回ご提案いただいておりますが、各区・自治会からのご相談には自治会担当課において随時ご対応させていただき、さらに年5回開催の町政連絡事務囀託員連絡会においても意見交換、情報の共有を行っております。このほか、各区・自治会からの町政相談(区・自治会からのご要望)にも最大限対応するなど、各区・自治会の課題を町としてきめ細かくサポートする、綿密な対応をさせていただいております。今後も、各区・自治会のご意見を拝聴しながら、各区・自治会との連携強化を図ってまいります。</p> <p>自治会は、近年多発する災害においては、相互扶助組織として大いにその機能が期待されることです。非常時に有効に機能するためには、普段からの地域での関係性づくりが重要だと考えておりますので、ご提案いただきましたご意見も踏まえて、町として各区・自治会へのサポート手法の工夫に取り組んでまいりたいと存じます。</p>	広報公聴課